

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	シルク・ドゥ・シルク笑顔創出事業
事業主体 (連絡先)	シルク・ドゥ・シルクプロジェクト (長野県岡谷市神明町3-23-16)
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	413,600円 (うち支援金: 310,000円)

事業内容

- ・月に一度のサーカス・大道芸ワークショップ
親子、おじいちゃんおばあちゃんが一緒に参加できるジャグリングのワークショップを月に1度ずつ開催。そこでシルク・ドゥ・シルクプロジェクトの趣旨を説明。
- ・シルク・ドゥ・シルク in シルクファクトおかや
シルクファクトおかやでサーカス・大道芸ショウの開催。開館記念日に近い休日8月11日に実施。ショウは午前午後各1回ずつ実施し、前後に無料ワークショップも。
- ・「たのしの森」ワークショップ参加
地域のイベントにワークショップを無料開催。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

月に一度のサーカス・大道芸ワークショップ：下は3歳くらいから上は70代後半まで幅広い年齢層の皆さんが参加してくれた。世代にかかわらず一つの空間で笑顔を作るという目的は達成感できた。

シルク・ドゥ・シルク in シルクファクトおかや：午前中に約350人、午後約150人の親子が鑑賞に訪れてくれた。ワークショップなどを通して参加アーティストとの交流も実現した。シルク・ドゥ・シルクプロジェクトが何をしたいかの一端を市民の皆さんに提示できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

ワークショップは月例で続けたい思いはあるが、まずは活動を広めることを先に考えていく。WSは参加者が徐々に決まってしまうので岡谷や諏訪地方のイベントに積極参加し、出前WSでプロジェクトを発信する。イベントは気軽に参加できる効果があると感じた。もしアーティストの出演を希望されれば、その仲介は行う。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



ワークショップ風景

【目標・ねらい】

- ①幅広い世代の交流と笑顔の創出
- ②シルク岡谷を知ってもらう
- ③蚕糸博物館に足を運ぶきっかけ
- ④全国発信のきっかけ

※自己評価【 B 】

【理由】生糸に関して、取り組みをしているほかの団体との交流ができなかった。ワークショップは公共施設の理解が得られず、クローズの場所ではしか実現できず“発信のきっかけ”に関しては目標が達成できなかった。